

講座の目的

小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞の指導について、講義、演習を通して美術教育における鑑賞の意義などを理解しながら、鑑賞の指導の在り方や教材研究の仕方を学び、その識見と指導力を高める。

対象と定員

12名
(小・中・高12名・特支)

期 日

前期 令和2年 7月31日(金)
後期 令和2年10月30日(金)
前後期とも参加での申込みとする

研修内容

○鑑賞教育の意義と課題
○鑑賞の指導の在り方
○鑑賞の評価の在り方 等

担当者からのメッセージ

作品から感じ取ったことをもとに自分の思いや考えを大切にしながら、自分なりの意味や価値を発見し、対話を通して交流・共感しあうような、子どもたちの主体的な美術鑑賞が求められています。

前期は、福島県立美術館を会場に、美術作品の鑑賞を楽しみながら、実践的な演習を通して、子どもたちの鑑賞活動や指導方法のヒントを探ります。

後期は、福島県教育センターを会場に、**東京藝術大学特任准教授の伊藤達矢先生**、福島県立美術館学芸員を講師に、講義・演習を通して鑑賞について考えます。

